

# 進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2009. 4. 6

No. 1

## 進路決定の年がスタート

いよいよ高校生活での最終学年を迎え、気持ちを新たにしていることと思います。今年は自分の進路を決めなくてはならない年でもあります。進学しようか就職しようか、あるいはどんな分野に進んだらよいのか迷っている人も少なくないでしょう。昨年の秋以降百年に一度というような世界的大不況に突入しており、特に就職希望者にとっては、一層進路に対しての不安がつのっていることと思います。政治家にとっても打開の道を模索しても、まだその見通しは立てられないでいます。当然各企業関係者にとってもまだ先が読めず本年度の求人の方針が立てられないのも確かでしょう。今後の見通しは誰にも分からないような混沌とした状況にあります。

しかし、今年進路選択を控えている当事者である皆さんにとっては、こうした外部の不安はあっても、こうした中で最善の道を模索していかなくてはなりません。そのためにもただ言えることは、従来のような希望すれば何とか就職が出来るという安易な状況にはなく、企業から必要な人材を厳しくセレクトされるということです。担任の先生や学校で進路の斡旋はしても、確実に希望するところに入れるか否かは今まで以上に厳しくなっていることをまず覚悟しなくてはなりません。最後は個々の覚悟と決意と姿勢が問われてきます。

いい加減な気持ちで過ごしていると、進路は保証されないでしょう。今年は今まで以上に進路を意識し、きちっとした生活を心がけましょう。

進学希望者は、以前に比べて学校を選ばなければ、極めて入りやすくなっています。しかし進学するためには、親にかなりの経済的負担を強いることとなります。県外へ出れば生活費も含めて最低でも年間 200 ～ 250 万円程度は必要となります。現在の経済不安の中で親にとっても大きな負担となります。当面就職するのがいやだからと、安易な思いで進学しても親の苦勞のしがいがいがないような状況となっても困ります。特に専門学校への進学は入学後「資格」を取らなくては無駄となりますし、単なる趣味的発想で進路を選択すると後で、特に地元に戻ったときに就職時に困ることとなります。何を学びたいか、将来それをどう生かしたいかにまで思いを巡らせ、しっかりと検討した上で進学を考えましょう。

公務員希望者は、こうした経済的不安定な時代だからこそなおのこと、競争は極めて厳しくなることと思います。

自分の将来の進路について不安は多いでしょうが、色々悩むことは必要です。親や先生方とも話し合いの機会を持ち、じっくりと考えこの一年でよい進路選択が出来ることを願っています。

本年度の進路係です

小林、福澤、山本、藤森

**よろしくお願ひします**

学年の先生と共に皆さんの進路相談を受けたいと思います。

お気軽に相談下さい。

